



発寒ひかり
保育園だより

2025年
6月号

巻頭言

お天気に恵まれた先月の13日に、子どもたちといも植えをしました。園長先生から、おいもの種類の話があり、真剣に聞いていた子どもたち。「メーカーインは、カレーにかうんだよね」「とうやは、どんなりようりにかうのかな」と考えたり、畑に「おいものご飯だよ」と肥料をまいている様子を見て、「おいもも、ごはんをたべるんだね」と話したりしながら、いも植えを行っていました。最後に「おいしくなあれ」とおまじないをかけて今から収穫を楽しみにしています。

クラス・ファミリーの畑の準備も始まっています。子どもたちと何を育てたいかを話し合い、今年はきゅうり、トマト、なす、にんじん、さつまいも、かぶ、ズッキーニ、すいかなどを植えることになりました。

しかし、植えるだけでは作物は育ちません。水やりやいじわる草(雑草)抜きなどのお世話が必要です。自分たちで作物を育てる経験を通し、「食」に対する大切さを感じてもらいたいという取り組みを当園では「食農育」と呼んでいます。

「食べることは生きること」。食事はただ栄養を摂取するだけではなく、大切な命を守り、味やにおいはもちろん、一緒に食べる人、食べるときの雰囲気などが記憶に残り、人生を豊かにしてくれるものです。毎日の給食・おやつとの時間や畑のお世話の時間が、食事を作ってくれる人、作物を育ててくれる人、お肉やお魚の命などに感謝すると共に、自分の命を大切に感じながら子どもたちの成長へとつながる時間となるようこれからも過ごしていきたいと思えます。

主任保育士 笛木 菜未